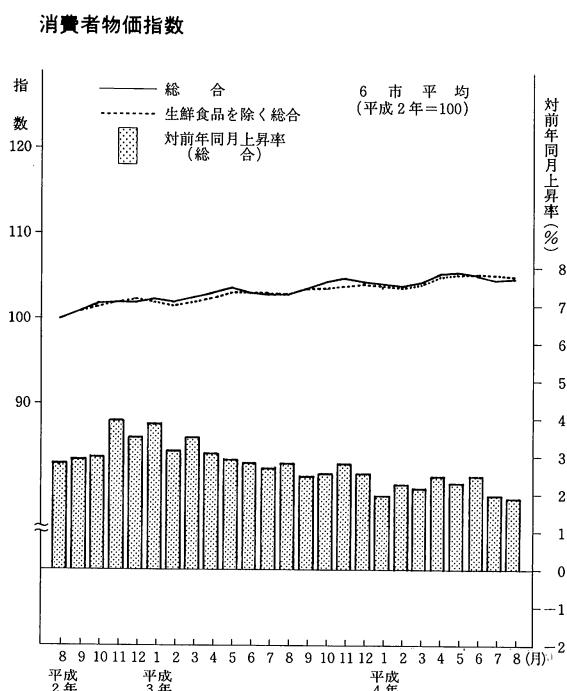
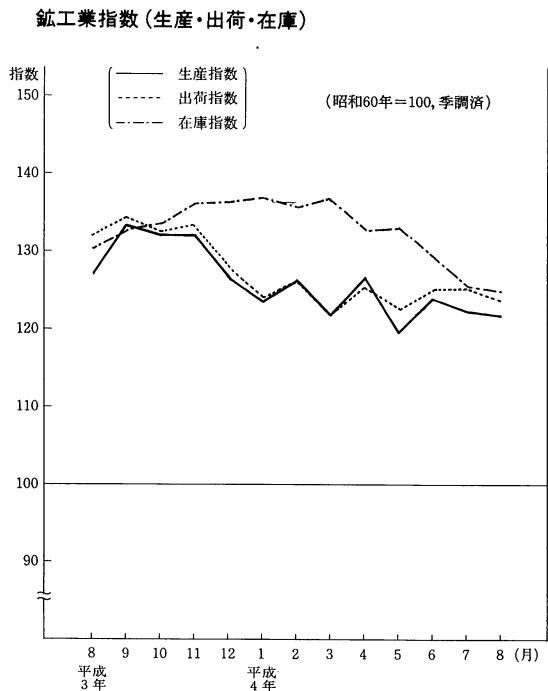
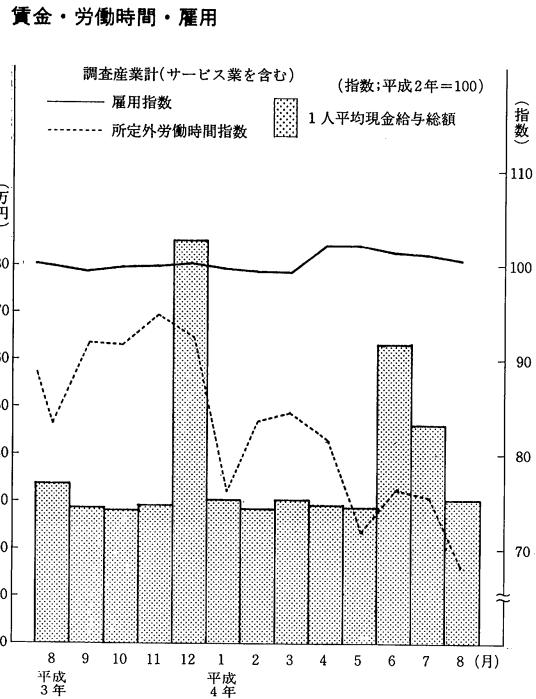
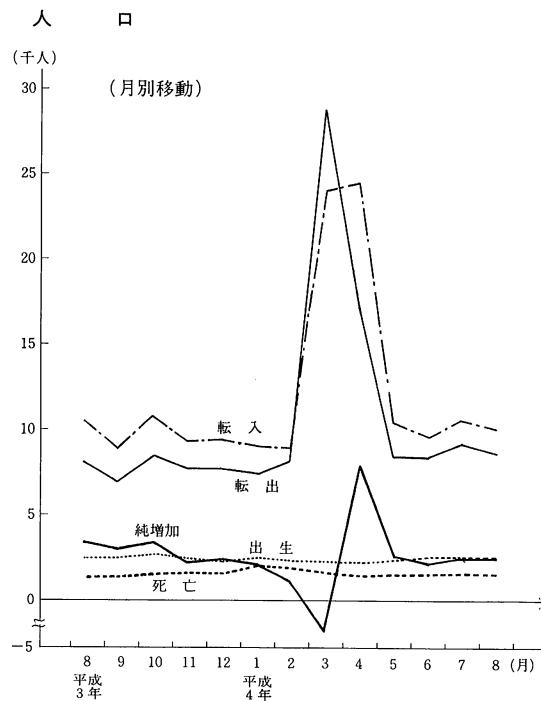


●今月の主な動き

今月の主な動き



今月の主な動き●

主な動きのあらまし 企画部統計課

■人 口(9月1日)

本県の人口は、8月中に2,589人増加し、9月1日現在で2,902,791人(男1,449,873人、女1,452,918人)となった。内訳は、自然動態で1,112人(出生2,607人、死亡1,495人)増加し、社会動態で1,477人(転入10,332人、転出8,855人)増加した。前年同月と比べると28,621人(1.00%)の増加で

ある。

市町村別では、増加が15市47町村、減少が5市19町村、増減なしが1村である。

世帯数についても8月中に963世帯増加し875,455世帯となった

■賃金・労働時間・雇用(8月)

1. 平均賃金の推移

8月の現金給与総額は、調査産業計で300,749円、対前年同月比11.4%減、このうち、きまって支給する給与は284,670円、対前年同月比2.8%増であった。また、このうち、所定内給与は260,606円、対前年同月比4.9%増であり、超過労働給与は24,064円、対前年同月比15.7%減であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比12.8%減であった。

*この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

■鉱工業指数(生産・出荷・在庫)(8月分)

本県における平成4年8月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が121.7、出荷が123.8、在庫が124.9で、前月比は、生産が△0.3%の低下、出荷が△1.4%の低下、在庫が△0.7%の低下であった。

前年同月比(原指数)は、生産が△4.0%の低下、出荷が△6.1%の低下、在庫が△4.2%の低下であった。

業種別に前月比をみると生産では、石油・石炭製品工業、鉄鋼業、窯業・土石製品工業等が上昇し、鉱業、輸送機械工業、一般機械工業等が低下した。出荷では、鉄鋼業、鉱

2. 労働時間

8月の総実労働時間は、調査産業計で152.0時間、対前年同月比2.3%減であった。このうち、所定内労働時間は138.8時間、対前年同月比0.6%減、所定外労働時間は、13.2時間、対前年同月比18.6%減であった。

3. 雇用の動き

8月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.7%増であった。

業、繊維工業等が上昇し、金属製品工業、輸送機械工業、化学工業等が低下した。在庫では、石油・石炭製品工業、輸送機械工業、化学工業等が上昇し、鉱業、電気機械工業、精密機械工業等が低下した。

特殊分類別にみると生産では、耐久消費財、その他用生産財等が上昇し、資本財、建設財等が低下した。出荷では、耐久消費財、資本財等が上昇し、建設財、鉱工業用生産財が低下した。在庫ではその他用生産財、建設財等が上昇し、耐久消費財、鉱工業用生産財が低下した。

■消費者物価指数(8月)

平成4年8月の茨城県消費者物価指数(6市平均)は、総合で104.9(平成2年=100)となり、前月比0.2%の上昇、前年同月比1.9%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……果物14.9%、魚介類3.3%、他の教養娯楽1.1%、肉類1.0%

今月の下がった主な項目……シャツ・下着5.4%、衣料3.2%

生鮮食品を除く総合は105.2となり、前月比は0.1%の下落、前年同月比は2.3%の上昇となった。

費目別指数 (平成2年=100)

区分	指 数	上昇率(%)		区分	指 数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	105.5	0.6	2.0	保健 医 療	102.3	0.0	2.3
食 料	105.4	△0.3	1.3	交通 通 信	99.6	0.0	△0.8
住 居	110.3	0.1	6.0	教 育	106.1	0.3	3.4
光 然・水 道	102.9	0.0	0.6	教 養 娯 楽	107.5	△0.6	3.5
家 具・家 事 用 品	101.5	0.7	0.5	諸 雑 費	103.5	0.0	2.1
被 服 及 び 履 物	109.9	7.9	0.8	生鮮食品を除く総合	105.8	0.6	2.2